

令和8年度 総合的な学習の時間 全体計画

児童の実態
 ・素直で、学習意欲が高く、指示や提示された課題によく取り組んでいる。
 ・探究的な学習の経験が少なく、自分事として深く追究することについては不得意である。

地域の実態
 ・公園や自然が多い。
 ・学校の教育活動に理解があり、協力的である。
 ・学校を会場とした地域の祭りが定期的に開催されている。

学校の教育目標
 教育基本法に則り、次の力の育成を図る。

○基礎・基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力
 ○自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性
 ○たくましく生きるための健康や体力

これらの力を育て、東京都教育委員会および練馬区教育委員会の教育目標に基づき、本校の実態に即して、次の目標を設定する。

◎思いやりのある子 ◎よく考える子 ◎健康で明るい子

総合的な学習の時間 第1の目標
 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識および技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

大泉第一小学校の総合的な学習の時間の目標
 探究的な見方・考え方を働かせ、学校の特色や身の回りおよび地域の人、もの、ことに関わる教科横断的で総合的な学習を通して、相手意識を大切に、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自分や身の回りおよび地域の人々に対する愛着を深め、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

(1) 学校の特色や身の回りおよび地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識および技能を身に付けるとともに、学校や自分の身の回りおよび地域のよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。
 (2) 学校の特色や身の回りおよび地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて予想を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
 (3) 学校の特色や身の回りおよび地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、よりよい社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら地域・社会に参画しようとする態度を身に付ける。

| 総合的な学習の時間の内容 | | | | | |
|----------------------------|---------------------------------|---|--|---|---|
| 学年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | |
| テーマ | 伝統文化 | 福祉 | 町づくり | キャリア | |
| 探究課題 | 「練馬大根を広めよう」地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々 | 「ともに生きよう」身の回りの障害のある方とその暮らしを支える仕組みや人々 | 「大クエスト」町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織 | 「有終の美を飾ろう」実社会で働く人々の姿と自己の将来 | |
| 探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力 | 知識 | 練馬区の特色やよさ、それらを広める活動について理解することができる。 | 障害のある方の思いや願い、暮らしを支える仕組みを理解することができる。 | 地域のよさや地域に住む人々の思いを理解することができる。 | 地域や社会、自分自身、友達のよさについて理解することができる。 |
| | 技能 | 練馬大根の大切さに気づき、よさを広めることができる。 | 気持ちのよい挨拶をしたり、分かりやすい伝え方をしたりして、障害のある方と適切に関わる。 | 地域にある公園や施設などを大切に扱ったり、地域の方々と交流をしたりするなど、適切に接する。 | 友達やお世話になった方々と交流を深めたり、気持ちを伝えたりするなど、適切に接する。 |
| | 探究的な学習のよさの理解 | 練馬区や練馬大根を大切にしたいという自分たちの思いの変容は、探究的に学んだことによる成果であると気付く。 | 障害のある方への接し方など自分の意識や行動の変容は、探究的に学んだことによる成果であると気付く。 | 地域の魅力や課題に関する理解は、地域の人、もの、ことに関わりながら探究的に学んだことによる成果であると気付く。 | 自分自身のよさを再認識するなど、自分たちの思いや考えの変容は、働くことの意味等について探究的に学んだことによる成果であると気付く。 |
| | 課題の設定 | 体験的な活動を通して、地域の伝統や文化、障害のある方に関する課題を設定するとともに、解決に必要な調査方法を明確にし、計画を立てることができる。 | 自分たちを取り巻く地域社会に広く目を向けて課題を見出し、解決の方法や手順を考え、見直しをもって計画を立てることができる。 | | |
| | 情報の収集 | 人に聞いたり、図書館やICTを活用して調べたりして、必要な情報を集めることができる。 | 自分の目的や意図に即した情報を多様な方法で収集し、紙面やICT等で蓄積することができる。 | | |
| | 整理・分析 | 集めた情報を比較し、観点ごとに分類し、表などを用いて整理することができる。 | 集めた情報を表やグラフ、思考ツール等を用いて分類・整理し、特徴を見付けることができる。 | いろいろな思考ツール等を用いて、集めた情報を整理し、情報と情報の関係を考えることができる。 | 適切な思考ツール等を選んで情報を整理し、情報と情報があるか、見出すことができる。 |
| | まとめ・表現 | 他教科等で培った表現力等を生かし、相手に伝わるようにまとめることができる。 | 他教科等で培った表現力等を生かし、相手に応じて分かりやすく表現することができる。 | 他教科等で培った表現力等を活用し、目的に応じて手段を選択し、情報収集やまとめ等を行うことができる。 | 他教科等で培った表現力等を活用し、他の学習や生活に生かしたりすることができる。 |
| | 主体性・協働性 | 友達や身近な人と力を合わせて課題を解決しようとする。 | 友達や身近な人と協力して探究的な活動に取り組み、課題を解決しようとする。 | 他者と協働して探究的な活動に取り組み、自らの意思で課題を解決しようとする。 | 自分と身近な実生活・実社会の問題解決に他者と協働して進んで取り組もうとする。 |
| | 自己理解・他者理解 | 課題解決の中で、友達や身近な人の考えを受け入れながら、探究的な活動に取り組もうとする。 | 探究的な活動の中で、自分や友達の意見や考えそれぞれによさがあることを知り、学び合おうとする。 | 探究的な活動を通して、自分のよさや他者のよさを生かしながら、協働して課題を解決しようとする。 | 探究的な活動を通して、自分自身を理解し、他者の考えを受け入れ尊重しながら学び合おうとする。 |
| 将来展望・社会参画 | 地域との関わりの中で、自分できそうなことを見付けようとする。 | 地域との関わりの中で、自分のできることを見付けようとする。 | 地域との関わりの中で、自分も地域の一員であることを自覚し、地域のためにできることを見付け、実践しようとする。 | 地域との関わりの中で、自分も地域の一員であることを自覚し、地域にとって必要なことと自分のできることを検討し、実践しようとする。 | |

各教科等で身に付けた資質・能力

| <学習活動> | <指導方法> | <指導体制> | <学習の評価> |
|---|---|--|---|
| ・地域や児童の実態を踏まえ、学校や地域の特色を生かした探究課題を設定する。 ・年間2～3単元程度とし、十分な時間を確保した探究的な活動となるようにする。 | ・体験活動を重視する。 ・各教科等との関連を重視した指導を行う。 ・探究サイクルを充実させる。 | ・地域施設や人材、資材の活用や地域の人々近隣の教育機関との連携を行う。 ・学年合同授業、ICT支援員による授業支援など、全教職員による支援体制を確立する。 | ・個人内評価を重視する。 ・ポートフォリオを活用した評価の充実を図る。 ・発表会（異学年交流を含む）を利用した評価を活用する。 |